

	2月累計	4月～1月
組合員ふやし	19人	1140人
出資金ふやし	47万円	8857万円
純増	▲17万円	1328万円

「訪問看護ステーションコープはつかいち」オープン前に 「廿日市の介護をめぐる講演と介護相談会」を開催

4月廿日市大野地域に開設予定の訪問看護ステーションの名称が、正式に「訪問看護ステーションコープはつかいち」(前号で、名称を間違えていましたので訂正いたします)と決定し、2月3日(土)廿日市のあいプラザで、生協ひろしまと共催で「廿日市の介護をめぐる講演と介護相談会」が開催されました。内容は、生協ひろしまより「介護保険と廿日市の介護サービスの現状」そして「生協ひろしまの介護サービスの現状」という講演をいただき、高橋陽子準備室長より(現在、コープ五日市訪問看護ステーション所長と兼務)、「広島中央保健生協の訪問看護の紹介」を行いました。

高橋室長の講演は、訪問看護が診療報酬として評価されていない福島診療所創設の頃から、看護師が気になる患者の自宅へ訪ねていくような看護活動が始まり、今は2病院・医科歯科連携・医療と介護のネットワークを広げる生協に発展してきた、当生協の歴史と発展が語られ、どんな病状であっても「自宅で暮らし続けたい」という患者さんの思いに寄り添ってきた事例の紹介がありました。

生協ひろしまの組合員さんと、廿日市で「けんこう」の手配り協力員さんなど23名の参加があり、4つのグループでにぎやかに相談と懇談も行われました。宮島からのご参加もあり、廿日市の広さを感じさせられ、廿日市への事業所展開、生協ひろしまとの協同組合連携という、当生協の新しい歴史のページを開く予感が感じられるものとなりました。

10日(土)にも、今度は訪問看護ステーション建設予定の生協ひろしまの事務所内で再度「講演と介護相談会」が開催されます。廿日市にお住まいの方にどうか広げてください。



＊ 都町支部新年会 ＊

1月21日、都町支部の新年会を兼ねたカラオケ班会が行われました。参加者は16名でした。

午前10時開始とあってか最初の方はカラオケのオーダーも控えめでしたが、そこはさすがに都町支部のみなさん、1曲2曲と唄うごとに盛り上がっていきました。「歌は世につれ世は歌につれ」という言葉がありますが、「この曲は〇〇さんの十八番だったんよ」「あの頃こうだったね～」との会話にふれ、歌っていいなとあらためて思うと同時にみなさんの年輪を感じたカラオケでした。



